

人を祝う

成人式記念式典



1月15日、新たに大人の仲間入りをした若者を祝う成人式記念式典が、町文化会館で行われました。

この日は、朝から冷たい雨が降るといふあいにくの天気でしたが、会場は、色鮮やかな振り袖や真新しいスーツ、羽織り袴で着飾った若者で華やかな雰囲気につつまれていました。

今年成人式を迎えられた若者は、263名(男115名・女148名)で、その内201名が出席。

受け付けのロビーでは、中学校を卒業して以来の友人・先生との再会に「元気だった、今何をしているの」とあちこちで会話が弾んでいました。式典では、「みなさんは今

20歳を迎えて

今年成人式を迎えられた方々に

①心境と抱負
②これからの横芝町に望むことの2つについて伺ってみました。



中台 伊藤 章 さん

①あつという間に20歳になってしまったというのが率直な心境で、あまり実感がわきませんが、これからは大人として責任と自覚をもって行動していきたいと思えます。

②横芝町の良いところは、都心のような住宅地やビルが密集しているところと違い、自然があつてゆつくりと落ち着ける点だと思います。横芝町もだぶ地域の開発化が行われ、これから先も進んでいくでしょう。しかし、そういった状況の中でも自然をしっかりと守り、住み良いまちづくりを進めていってください。



栗山 杉田真理子さん

①成人式を迎えた私は、これから大人として見られます。自分の言動に責任をもたなくてはなりません。だからとい

って消極的にならず、自分の夢に向かって、日々努力していきたいと思えます。そしていつか、私の成長を支えてくれた人々に恩返しをしたいと思えます。

②生活大国、福祉国家と呼ばれています。それは、心安まる郷土こそ可能でしょう。幸い、横芝町は自然に恵まれています。そこに健全な精神が育つと思えます。人と人とのふれあいや教育が加われば豊かな文化が芽生えるでしょう。

